

英語民間検定について

- ① 事業概要
- ② 求められる英語の力
- ③ GTEC と英検の違い
- ④ 2019 年度、2020 年度事業結果

令和3年5月26日

学校教育課

市内中学校英語学習指導に係る調査分析等業務委託

本事業の目的

(株)ベネッセコーポレーションと熱海市内の生徒の英語力向上、
教員の指導力向上を目指し本事業を実施し、英語力育成を
推進する

本事業の内容

(株)ベネッセコーポレーションとともに、
①教員研修 ②英語4技能テストを用いて、英語力育成の
仕組みを構築する

英語 4 技能測定テスト軸にした 新たな英語力向上「仕組みづくり」構築



2. ^{けんいん}社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

目標（7）グローバルに活躍する人材の育成

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度や、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けて様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成する。

（測定指標）

- ・英語力について、中学校卒業段階で CEFR⁸²の A1 レベル相当以上、高等学校卒業段階で CEFR の A2 レベル相当以上を達成した中高生の割合を5割以上にする
- ・日本人高校生の海外留学生数を6万人にする
- ・グローバルに活躍する人材の育成につながる短期留学者を増加させながら、大学等の日本人海外留学生数12万人を引き続き目指す
- ・外国人留学生数30万人を引き続き目指していくとともに、外国人留学生の日本国内での就職率を5割とする

⁸² 「ヨーロッパ言語参照枠」を指す。語学シラバスやカリキュラムの手引の作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、包括的な基盤を提供するものとして、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表した。

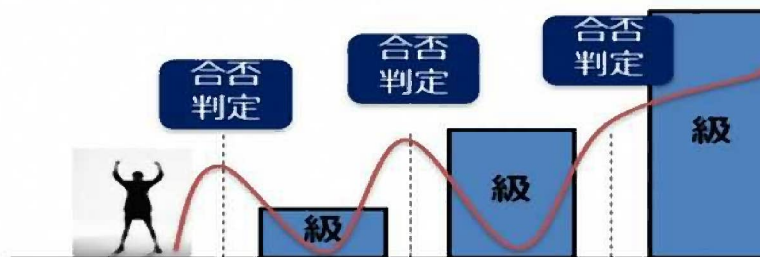
○文科省 「第3期教育振興基本計画」 P65
https://www.mext.go.jp/content/1406127_002.pdf

**国の指標は「英検」ではない
＝世界の英語基準である「CEFR」が指標になる**

スコア型のメリット

検定

- = 認知度が高いため、受験のハードルが低く、容易に自らの到達度を把握できる
- = 受験に向けた意欲向上に効果はあるが、受験後の学習意欲が合否に左右される

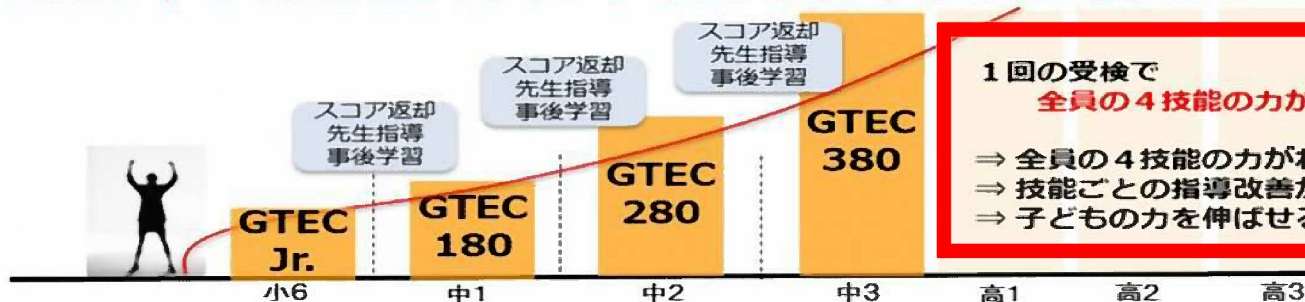


スピーキングは
1次合格者のみ受験可能

- ⇒ 全員の4技能の力が分からない
- ⇒ 技能ごとの指導改善ができない
- ⇒ 子どもの力を伸ばせない

GTEC

- = 日本の中高生に適した素材と評価により、自らの英語運用力が正確に把握できる
- = 受検後に、どの技能をどのようにして伸ばせばよいか明確になり行動につながる



1回の受検で
全員の4技能の力が測れる

- ⇒ 全員の4技能の力がわかる
- ⇒ 技能ごとの指導改善ができる
- ⇒ 子どもの力を伸ばせる

(補足)GTECと英検の違いについて

【内容の違い】

- ・英検は個人帳票のみ
- ・GTECは「生徒」「学校」「自治体」へのフィードバックがある
 - 「生徒」→4技能別の結果帳票(生徒用)+復習テキスト
 - 「学校」→4技能別の結果帳票(先生用)+詳細のフィードバック
 - 「自治体」→人的支援(事前研修会・事後分析会)

【受検における平等性】

- ・英検は1次合格率は50%。合格者50%しか「話す」技能を測れない
1次不合格の生徒は「話す」技能は測定不可(不平等)
- GTECは“クラス全員”が平等に「話す力」をタブレットで測定できる

【評価の違い】

- ・英検は「●級」と記載のみ。
- GTECは前年との伸びが見え、子どものモチベーションアップに繋がる

「GTEC」入試活用大学 657大学

2020年6月2日時点
ベネッセ調べ
国内は2020年度入試
海外大は判明分

主な活用大学

小樽商科大、北海道教育大、東北大、宮城教育大、福島大、茨城大、筑波大、宇都宮大、群馬大、埼玉大、千葉大、東京大、東京海洋大、お茶の水女子大、東京外国語大、横浜国立大、新潟大、金沢大、信州大、愛知教育大、豊橋技術科学大、名古屋大、名古屋工業大、大阪大、大阪教育大、神戸大、和歌山大、鳥取大、岡山大、広島大、山口大、九州大、九州工業大、佐賀大、長崎大、大分大、宮崎大、鹿児島大

国際教養大、前橋工科大、高崎経済大、東京都立大、横浜市立大、都留文科大、長野県立大、静岡文化芸術大、愛知県立大、三重県立看護大、大阪府立大、神戸市外国語大、島根県立大、県立広島大、山口県立大、北九州市立大、福岡県立大、福岡女子大、長崎県立大

北海学園大、東北学院大、青山学院大、亜細亜大、学習院大、駒澤大、芝浦工業大、上智大、成蹊大、成城大、専修大、大東文化大、中央大、津田塾大、帝京大、東海大、東京理科大、東洋大、日本大、法政大、武蔵大、明治大、明治学院大、立教大、早稲田大、神奈川大、愛知淑徳大、中京大、南山大、名城大、京都産業大、同志社大、立命館大、龍谷大、関西大、近畿大、甲南大、広島修道大、松山大、西南学院大、福岡大、立命館アジア太平洋大

文部科学省 全国学力・学習状況調査

2019~
(31年度)

- ▶ **中学校 3年生**対象 (小学校6年生は国語・数学)
- ▶ **英語 4技能調査**は**3年に1度**程度実施
- ▶ 調査時間：「聞く・読む・書く」：45分程度
「話す」：10~15分程度
- ▶ 「聞く・読む」：選択式,
「書く」：選択式・短答式及び記述式
「話す」：コンピュータやタブレット等を活用



平成 31 年度

全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等(教育委員会、学校法人等)の協力を得て実施するものです。

調査実施日：4月18日(木)

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、**英語**)

出題範囲は、調査

それぞれの学年・教科

① 身に付けてお

て不可欠であり

② 知識・技能を

立て実践し評価

調査問題では、上

記述式

③ 生活習慣や学習

態度

児童生徒は

学習態度、学習方法、学

習する態度

(90) 国語・英語への興味・関

心、読書習慣の状況

中学校・英語
読むこと
4技能

まとまりある文章から大切な部分を読み取る

7 英語の勉強は、あなたが見たイングリッシュカフェ (English Café) という雑誌のホームページの一部です。記事の裏面に書かれていることを、知るためには、この中の1から4行どの部分を読み取らなければなりません。最も適切なものを1つ選びなさい。

English Café
Free English Program

Date: Sunday, June 3rd
Time: 3:00 p.m. - 5:00 p.m.
Place: City Hall Restaurant

Come to English Café and...

1 - You can enjoy speaking English with people from many countries.
- You can learn about their countries: the U.S., Australia, Canada, China, India...

2 have a chance to tell them about Japanese traditional English. Please think of something to talk about.

3 and to have some food from other countries. Of course, there will be Japanese food, too.

4 If you have any questions about the program, you can send an email to info@xxx.com, call 0120-xxxx-xxxx, or visit our office at City Hall.

「話す」も含めた「4技能育成」が必須

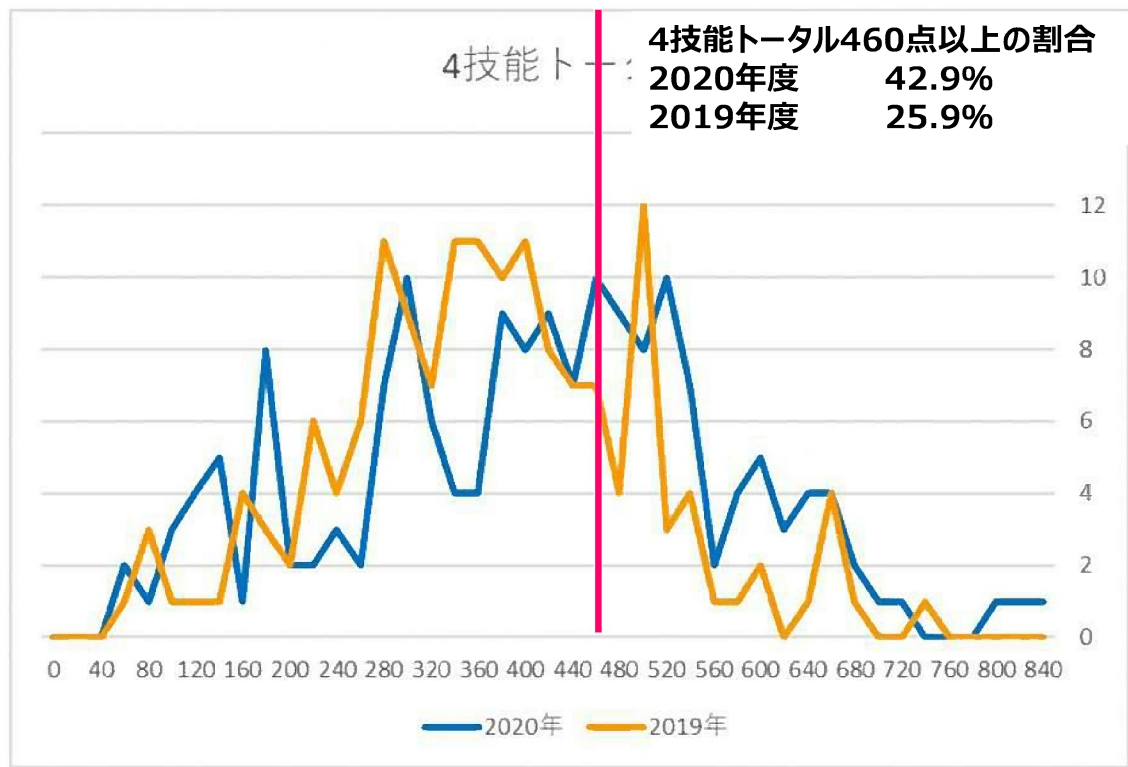
2019年度・2020年度事業結果

学校名	TOTAL		READING		LISTENING		WRITING		SPEAKING	
	GTEC SCORE	CEFR-J Level	GTEC SCORE	CEFR-J Level	GTEC SCORE	CEFR-J Level	GTEC SCORE	CEFR-J Level	GTEC SCORE	CEFR-J Level
公立中平均 (中3)	427.0	A1.2	93.0	A1.2	105.0	A1.2	127.0	A1.2	106.0	A1.2
公立中平均 (中2)	374.0	A1.2	75.0	A1.1	95.0	A1.2	113.0	A1.2	84.0	A1.1
2020年平均 (中3)	415.5	A1.2	89.2	A1.2	94.9	A1.2	144.2	A1.3	87.2	A1.1
2020年平均 (中2)	376.6	A1.2	75.4	A1.1	85.8	A1.1	133.8	A1.2	81.6	A1.1
2019年平均 (中3)	379.2	A1.2	77.5	A1.1	90.3	A1.2	136.0	A1.2	75.4	Pre-A1
2019年平均 (中2)	380.0	A1.2	77.7	A1.1	91.8	A1.2	119.9	A1.2	88.9	A1.1
公立中平均- 2020(中3)	-11.5	-	-3.8	-	-10.1	-	17.2	-	-18.8	-
公立中平均- 2020(中2)	2.6	-	0.4	-	-9.2	-	20.8	-	-2.4	-
2020(中3) - 2019 (中3) 同一学年比較	36.3	-	11.7	-	4.6	-	8.2	-	11.8	-
2020(中3) - 2019 (中2) 同一学年比較	-3.4	-	-2.3	-	-6.0	-	13.9	-	-7.3	-
2020(中3) - 2019 (中2) 同一母集団比較	35.5	-	11.5	-	3.1	-	24.3	-	-1.7	-

- ・2020年度、2019年度ともにWritingの結果が全国平均を上回る。更に同一学年比較においてもWritingの結果が向上している。
 - ・Speakingの結果が2か年連続で全校平均を下回っている。
 - ・同一母集団比較（2019年中2⇒2020年中3）にTOTALでスコア向上。
技能ごとの結果の変容に大きな差が生じている。
- ⇒Reading、Writingは順調に向上。Listening、Speakingは変化が少なく、特にSpeakingに課題

同一学年比較（中3） 4技能トータル 度数分布

CEFR-J	スコア	2020年	2019年
A2.2	840	1	0
	820	1	0
A2.1	800	1	0
	780	0	0
	760	0	0
	740	0	1
	720	1	0
	700	1	0
A1.3	680	2	1
	660	4	4
	640	4	1
	620	3	0
	600	5	2
	580	4	1
	560	2	1
	540	7	4
	520	10	3
	500	8	12
A1.2	480	9	4
	460	10	7
	440	7	7
	420	9	8
	400	8	11
	380	9	10
A1.1	360	4	11
	340	4	11
	320	6	7
	300	10	9
	280	7	11
	260	2	6
Pre-A1	240	3	4
	220	2	6
	200	2	2
	180	8	3
	160	1	4
	140	5	1
	120	4	1
	100	3	1
	80	1	3
	60	2	1
	40	0	0
	20	0	0
0	0	0	

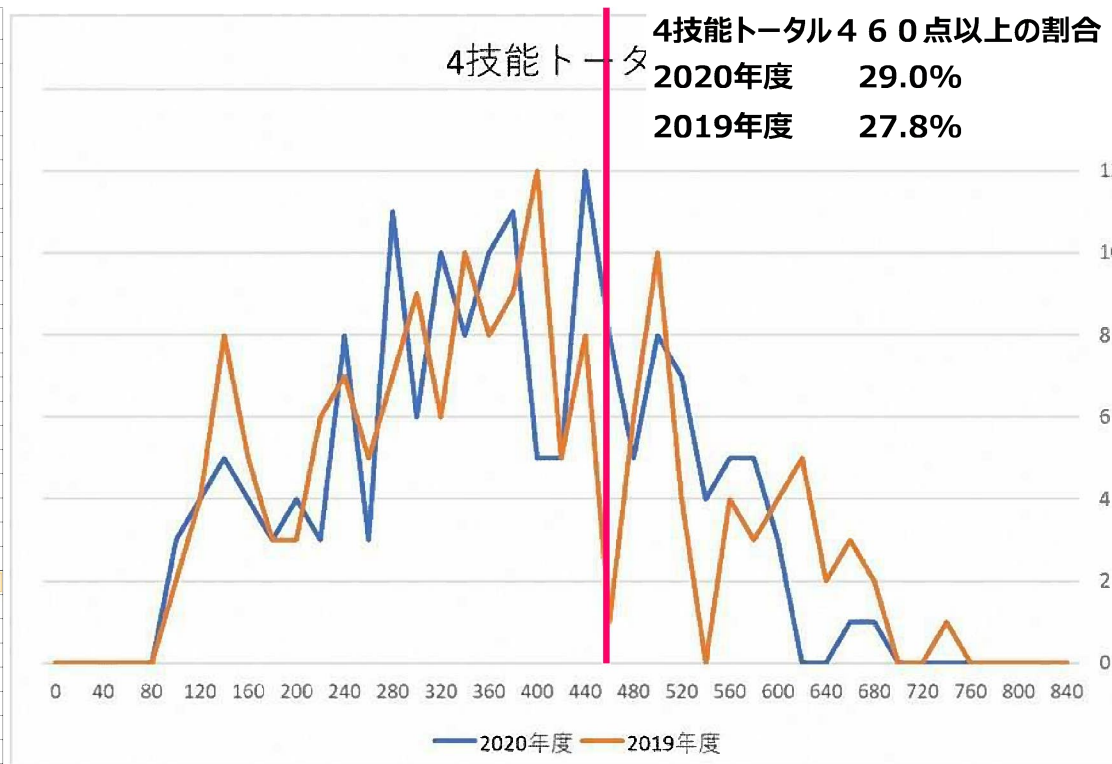


【メモ欄】

同一学年比較（中2）

4技能トータル 度数分布

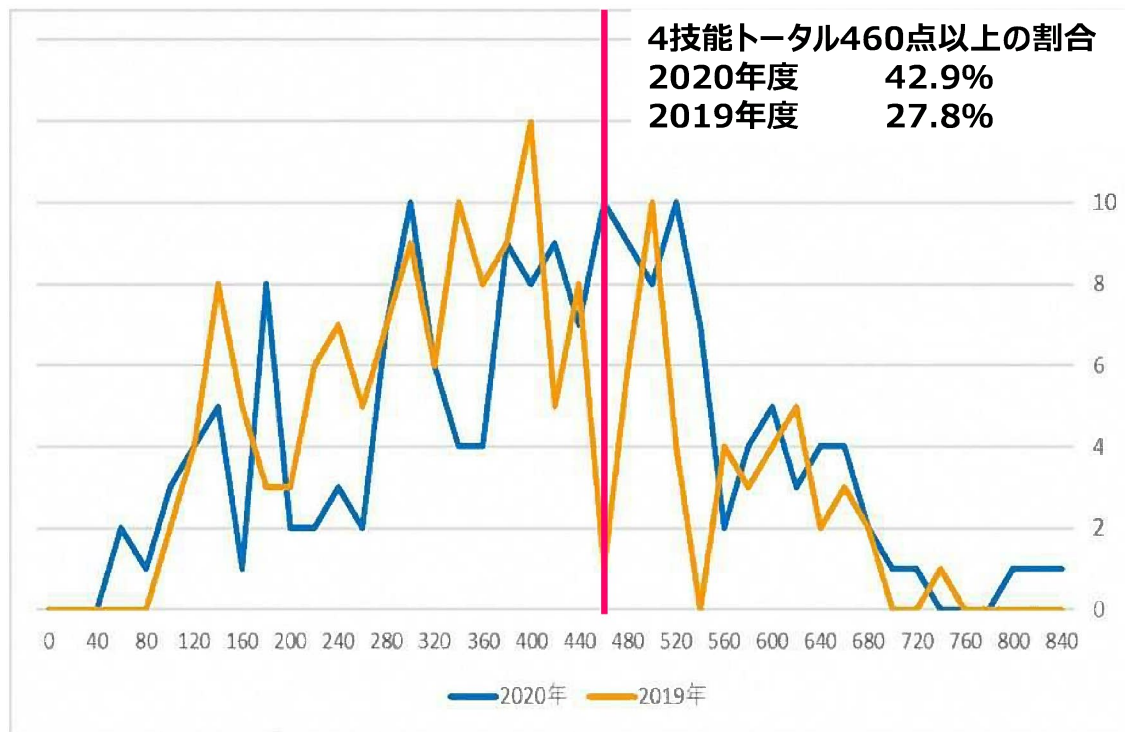
CEFR-J	スコア	2020年度	2019年度
A2.2	840	0	0
	820	0	0
A2.1	800	0	0
	780	0	0
	760	0	0
	740	0	1
	720	0	0
A1.3	700	0	0
	680	1	2
	660	1	3
	640	0	2
	620	0	5
	600	3	4
	580	5	3
	560	5	4
	540	4	0
	520	7	4
A1.2	500	8	10
	480	5	6
	460	8	1
	440	12	8
	420	5	5
	400	5	12
	380	11	9
A1.1	360	10	8
	340	8	10
	320	10	6
	300	6	9
	280	11	7
	260	3	5
Pre-A1	240	8	7
	220	3	6
	200	4	3
	180	3	3
	160	4	5
	140	5	8
	120	4	4
	100	3	2
	80	0	0
	60	0	0
	40	0	0
	20	0	0
	0	0	0



【メモ欄】

同一母集団比較（2019年中2⇒2020年中3）4技能トータル 度数分布

CEFR-J	スコア	2020年	2019年
A2.2	840	1	0
	820	1	0
A2.1	800	1	0
	780	0	0
	760	0	0
	740	0	1
	720	1	0
	700	1	0
A1.3	680	2	2
	660	4	3
	640	4	2
	620	3	5
	600	5	4
	580	4	3
	560	2	4
	540	7	0
	520	10	4
	500	8	10
A1.2	480	9	6
	460	10	1
	440	7	8
	420	9	5
	400	8	12
	380	9	9
A1.1	360	4	8
	340	4	10
	320	6	6
	300	10	9
	280	7	7
	260	2	5
Pre-A1	240	3	7
	220	2	6
	200	2	3
	180	8	3
	160	1	5
	140	5	8
	120	4	4
	100	3	2
	80	1	0
	60	2	0
	40	0	0
	20	0	0
0	0	0	



【メモ欄】

2020年度 事業実施アンケート

学校名	今回のGTEC分析報告会から御校の英語4技能の強み・弱み、授業実践の成果やその分析方法を理解できましたか？	GTECで到達度を確認したり、指導改善に活かすことができますか？	GTEC分析報告会を終えて、これからご自身の授業をどのように行いたいと思われましたか？例：帯活動でチャットのワークを行わせる、書いた内容を必ずプレゼンさせる	GTECを来年度もやってみたいと思いますか？*ご受検いただいていない学校様は「今年度実施していない」を選択ください（選択式）
泉中学校	①十分理解できた	①十分活かすことができる	スピーキングに力を入れたい。	①やってみたい
多賀中学校	①十分理解できた	①十分活かすことができる	事前事後の資料がとても良いものと思います活用したいです	①やってみたい
熱海市立初島中学校	①十分理解できた	①十分活かすことができる	スピーキングを強化するための教材を考えて聞きたい。または、他の英語の先生にご指導をいただきたい。	①やってみたい
熱海中学校	②理解できた	②活かすことができる	帯活動で発話活動	①やってみたい

- ・研修参加先生には自校の英語4技能の特徴を理解いただき、指導改善への有用性を実感
- ・GTEC事業を継続的に実施要望

【実施した効果】 GTEC受験後の教員アンケート

5. GTECに関する所感・気づきが何かあれば、ご記入ください。

学校のテストと比べ、実践的、実用能力が問われる問題が多いと感じました。従来の授業方法から、実際の生徒に英語を使わせる
知識を教える 活動重視の授業のシフトをいかに実現
していけるかを感じました。

5. GTECに関する所感・気づきが何かあれば、ご記入ください。

学校のテストもパネマンステスト形式で作ろうとしている。テストを愛する上でGTECを参考にできた。また、生徒にゴールを示す際にも説明しやすい。どうにかこのテストに臨めばよいかな。

【実施した効果】

先生方もよりコミュニケーション型な授業への展開ができる